



## 2017 シーズン初めに寄せて

鳥取県スキー連盟  
会長 内田 博長

先ず、10月に発生した県中部を震源とする地震で被害にあわれた皆様、関係の皆様にお見舞い申し上げます。そして、一日も早い復興をお祈りいたします。

会員の皆様には、日頃より本連盟の事業・スキー界の活動にご尽力いただいておりますこと、深く感謝申し上げます。

さて、10月に開催された全日本スキー連盟評議員会では、懸案の西日本ブロックの改編が、要望どおりに近畿ブロックと中国・四国・九州ブロックに分割されることに決定いたしました。新しく改編されたブロックは、来春より新体制で稼働することになりました。新ブロックに関して、今後細かな点について協議・調整していくこととなります。また、教育部関係・競技部関係においては、今後いっそうの連盟・スキー界の発展に向けて、委員会レベルでの組織改変も行われ、それぞれの規約等についても改変にともなう変更がありました。本連盟各部より関係の皆様には細かな点の情報提供・周知がなされますが、会員の皆様には今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

先シーズンは、予想だにしない雪不足のため、いくつかの行事を中止・変更せざるを得ないことが起こりました。皆様にもご迷惑をおかけしました。しかし、そんな中ではありましたが、教育部では、ジュニア教室の全日程実施をはじめ、技術選手権を目指す選手の育成やスキーの普及に努力してまいりました。また、競技部では、国体成年男子Cでの糸乗克選手（鳥取城北校教員）の5位入賞がありました。アルペン・クロスとも選手強化をはじめ、次世代選手の育成・発掘に努力してまいりました。

本連盟では、来るシーズンの各事業・行事に向けて着々と準備を進めております。よりいっそうのスキー界の発展を目指して、今年度より競技部にボード部門も加わりました。例年以上の成果が出せるよう役員一丸となって努力しているところです。シーズンの降雪を皆様とともに心待ちにしながら、さらなる発展を目指したいと思っております。今後とも皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

最後になりましたが、日頃より本連盟に多大なるお力添えをいただいております鳥取県体育協会の皆様、県内各スキー場の皆様、関係の皆様に厚くお礼申し上げます。また、変わらぬご協力をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。